

第13回オリンピック・コンGRESS/テーマの焦点

全体テーマ： The Olympic Movement in Society

テーマ1：アスリート (The Athletes)

1. 1：アスリート、クラブ、競技連盟、NOC の関係 (Relationship between the athletes, the clubs, federations and the NOC s)

設問背景 (Background of the sub-theme)：

アスリートは、クラブ、国内/国際連盟、NOC といった様々な団体からなる組織によって支援されている。これら団体はそれぞれ、アスリートに対して重要な役割を果たし且つ彼らに対する責任を負っており、またその逆も然りである。果たして現行の組織は満足なものなのか、あるいはアスリート及び支援組織に組み込まれる様々な団体双方の利益をより良く守るために何らかの改善がなされなければならないのか、オリンピック・ムーブメントはこれを見極める必要がある。

問題の焦点 (Focus of study)：

エリート・アスリート

クラブ、国内/国際競技連盟、NOC との関係で、また彼らが参加するイベントのとの関係において、アスリートはどのような権利、役割、責任を持つのか？

エリート・アスリートに対する役割及び責任

クラブ、競技連盟、NOC は、どういった分野において、エリート・アスリートに対する責任を負うのか？彼らがアスリートに対して負う責任は、より明確に定義されうるべきか？

クラブ、競技連盟、NOC の管理構造内で、エリート・アスリートの位置づけは十分に表現されているか？

エリート・アスリート、アマチュア・アスリート、及びスポーツや身体活動に参加する個人 (Sport for All)

スポーツや身体活動に参加する諸個人に対する役割と責任とは何か？

アスリート間のコミュニケーション

アスリート間のコミュニケーションはどのようにして改善されうるか？

1. 2：トレーニング及び試合中の健康保護 (Health protection in training and competition)

設問背景：

アスリートの健康は、オリンピック・ムーブメントにおける重要な関心事項の一つである。この問題の考察範囲には、教育、情報、治療、予防及びアンチドーピングの諸問題が含まれる。アスリートの健康保護という点に関し、どこに更なる改善が求められているか、オリンピック・ムーブメントは見極める必要がある。

問題の焦点：

スポーツ団体の役割

健康問題に関してアスリートとコミュニケーションをとるにあたり、スポーツ団体または非スポーツ団体のどちらが最適であるか？

アスリートの健康

選択したスポーツを実践することによる長期的な健康への影響に関して、アスリートはそのキャリアを通じて継続的な教育及びトレーニングを受けるべきか？

トレーニングや競技への一般的なアプローチを考えた場合、特にどういった場面でヤングアスリートは心配の対象となるか？また親が果たすべき役割とは？

アスリートの身体

新しいテクニカル・ルールやテクノロジーは、それらがあるスポーツに導入される前に、アスリートの身体への影響に関するより深いリスク評価に従うべきか？

1. 3 : 競技生活中及び競技生活後のアスリートの社会生活、職業生活 (The social and professional life of athletes during and after elite competition)

設問背景 :

スポーツにおけるキャリアの最初期から、アスリートには競技生活後の人生について準備する機会が与えられるべきである。アスリートは、社会生活の上でも、また就業 (professional) の上でも可能な限り継続的で、安定した生活を送る能力を有すべきである。アスリートの引退に関して、オリンピック・ムーブメントはその位置づけを再評価しなければならない。

問題の焦点 :

アスリートの生活

アスリートは、競技生活の最中からその後にかけて、安定し継続した社会生活及び職業生活を送れるよう、一定の支援あるいは補助を得るべきか？

代理人 (agent) の地位

代理人の役割とはどのようなものであるべきか？

代理人には、彼らがアスリートのキャリア管理を許される以前より、ある一定の基準に合う地位が与えられるべきか？

代理人は、アスリートの「商業的」支援と「社会的」側面における支援の均衡を正しく取れるようトレーニングされるべきか？

スポーツ団体及び非スポーツ団体の役割

どちらの団体が、社会生活及び職業生活の様々な場面において継続的にアスリートを支援するのに適しているか？

オリンピック・ムーブメントの様々なパートナーは、それらが直接的にスポーツに関与していようとなかろうと、どの程度までアスリートの社会生活や職業生活の様々な場面に関与していくべきか？

テーマ 2 : オリンピック競技会 (Olympic Games)

2. 1 : どのようにしたらオリンピック競技会を最上のイベントとして維持できるか？ (How to keep the Games as a premier event?)

設問背景 :

アスリート、レフェリー、審判員、観客、オーガナイザ、ボランティア、メディア、商業パートナー、そして一般市民は、オリンピック競技会を並外れたイベントとして経験する。第1回近代オリンピックがギリシャのアテネで開催されて以来、オリンピック・ムーブメントは一貫してこのイベント実施に係る改善を行っており、開催場所の環境に対して全面的な配慮を払ってきた。

問題の焦点 :

オリンピック競技会

どのような基準によって、我々はオリンピック競技会を最上のイベントと評価するだろうか？

オリンピック競技会の発展

未来のオリンピック競技会も最上のイベントと見なされるためには、どのようなイニシアチブが必要か？

2. 2 : オリンピック・バリュー (The Olympic Value)

設問背景 :

オリンピズムの基本原則の一つに、「オリンピズムとは身体、意志、精神の質を高め、これらをバランスよく一つにまとめる人生哲学である。スポーツを文化や教育と融合させ、オリンピズムは、努力の中で見出さ

れる喜びに基づいた生き方、実例を示しつつ先導する教育的価値、そして基礎的で普遍的な倫理原則を創造せんとする」とある。オリンピック・ムーブメントは、オリンピック競技会がまだオリンピック・バリューを推進する手助けとなっているか、また、オリンピック・バリューはオリンピック競技会の成功に寄与し続けているか、これを見極めなければならない。

問題の焦点：
オリンピック・バリューの自覚
オリンピック競技会は、今もオリンピズム普及に貢献しているか？また、オリンピズムはどの程度までスポーツを文化や教育と融合させているか？
オリンピック・バリューの推進
オリンピック・バリューを推進するにあたり最適な方法は何か？
他のパフォーマンス基準
勝利 (victory) 以外のパフォーマンス基準は考慮され、報われるべきか？

2. 3 : 普遍性と途上国 (Universality and developing countries)

設問背景：
普遍性の原則は、オリンピック・ムーブメントのメンバが組織する全てのメジャー・スポーツ・イベントへ世界の最大多数の国々が参加できるようにする、という考えに基づいている。この原則は、途上国で普遍性を推進するような政策の立案・実施を支援しているオリンピック・ファミリーの成功に大きく依存している。

問題の焦点：
普遍性
「オリンピック競技会の普遍性」という概念の意味するところは何か？
オリンピック競技会の普遍性を特徴付けるものは何か？普遍性の基準は何か？
また、これはどのように改善されうるか？
オリンピック・ムーブメントの役割及び責任
国際的な発展に関係しているという点においてオリンピック・ムーブメントに関与している諸団体の役割と責任は何か？

テーマ 3 : オリンピック・ムーブメントの構造 (The structure of the Olympic Movement)

3. 1 : オリンピック・ムーブメントの自治 (The autonomy of the Olympic Movement)

設問背景：
オリンピック憲章の基本原則の一つは、スポーツの運営・管理は独立したスポーツ組織によってコントロールされなければならない、ということである。更に、IOC には、オリンピック・ムーブメントの統一性を強化し、その独立性を守ることを目的とした措置をとる役目がある。これと同時に、IOC は関係する公的、私的組織や関係当局と協力し、スポーツを人類発展に寄与させ、これによって平和を推進する。オリンピック・ムーブメントはその独立性を保証するために満足な状態が出来上がっているか究明する必要がある。もっとも、このプロセスは関係する公的、私的組織や関係当局との関係を害するものでない。

問題の焦点：
自治
「オリンピック・ムーブメントの自治」という考えが表すものは何か？
様々な利害関係者との関係における自治 (商業パートナー、メディア etc.)
誰によって、またどのような関係を構築することで、オリンピック・ムーブメントはその自治を有するべきか？

オリンピック・ムーブメント内における自治

それぞれの自治を守るという観点から、オリンピック・ムーブメントに関与する諸団体はどのような制限と向き合うべきか？

オリンピック・ムーブメントに関与する団体の政治的、法的、財政的独立性は、他の団体と関係する際、どの程度までその自治を制限するか？

政府及び政府系組織との連携

いかにしてオリンピック・ムーブメントは異なった諸政府と、あるいは超国家的政府系組織と最適な協力関係を築けるか？

3. 2 : 良き統治と倫理 (Good governance and ethics)

設問背景：

良き統治 (Good governance) と倫理の本質は、スポーツの組織、運営、管理が統合された状態にある。透明性と統一性はオリンピック・ムーブメントと結びついた全ての団体が保持しなければならない本質的な価値である。

問題の焦点：

良き統治

オリンピック・ムーブメントの文脈の中で、「良き統治」という概念は何を意味するか？

倫理

オリンピック・ムーブメントにとって「倫理」規定という概念は何を意味するか？

トレーニング

スポーツの運営者 (administrators) は統治と倫理について十分な訓練を受けているか？

3. 3 : オリンピック・ムーブメントとその利害関係者の関係 (The relationship between the Olympic Movement and the stakeholders)

設問背景：

関連団体は当然として、オリンピック・ムーブメントは様々なスポーツ組織／非スポーツ組織との関係を有する。オリンピック・ムーブメントは政府、メディア、様々な商業的／非商業的パートナーと緊密な協力関係をもちながら進められる。オリンピック・ムーブメントは、こういった諸組織との現行の関係が満足なものであるかどうか、あるいは改善の余地があるかどうか見極めなければならない。

問題の焦点：

利害関係者

オリンピック・ムーブメントと様々な利害関係者 (政府、メディア、商業パートナー、世論 etc.) の関係は、オリンピック・ムーブメントの目的に適うよう効率的に機能しているか？

権利と義務

オリンピック・ムーブメントに関して、種々の利害関係者の権利と義務は常に尊重されているか？またその逆はどうか？

テーマ 4 : オリンピズムと若者 (Olympism and Youth)

4. 1 : 活動的な社会に向かって (Moving towards an active society)

設問背景：

多くの国々で身体活動の減少と肥満率の増加が認められる。ティーンエイジャーのスポーツが大きな減少傾向にあることで、若者のスポーツ参加は衰退の一途を辿っている。

問題の焦点：

スポーツと身体活動

若者の身体活動やスポーツへの参加が衰退傾向にある原因は何か？この傾向を逆転させるのに有効な方策は何か？

若者にとって身体活動は何を意味するか？どのようすれば若者の足をスポーツや身体活動への参加へと向けさせられるか？

若者のスポーツ競技は、今日の社会の風土病である病気や誘惑*を撥ね退けるのに役立つか？（*運動不足やストレス過多などによる心身の健康被害、麻薬や暴力などの反社会的衝動、TV やゲーム、パソコンなどへの熱中のことを示唆していると思われる。）

スポーツと教育

教育システムにおいてスポーツはどのような役割を果たすべきか？

教育システム内においてどういったスポーツの価値が広められるべきか？

スポーツの教育的価値は、教育システムの真ん中に位置すべきか？

教育的な観点から、スポーツにおいては勝利よりも参加することにより大きな重要性が与えられるべきか？

またそれは何故か？

マルチメディアの世界

マルチメディアの世界はどの程度まで若者のスポーツ参加に影響しうるか？

スポーツを題材としたテレビゲームは若者をより活動的にするのに役立っているか？もしそうなら、どのようにして？何故？

4. 2：競技スポーツ*はいまだ魅力的か？（Is competitive sport still appealing?） *軽い運動やフィットネス、レクリエーションに留まらない、試合・競技会への参加を当然とする本格的なスポーツ実践。

設問背景：

若者が経験していることは、より上の世代が経験したことと異なっている。多くの組織が若者の多様なニーズに見合おうと努力している。オリンピック・ムーブメントは、競技スポーツが魅力的であり続けるために出来ることを見出さなければならない。

問題の焦点：

若者とスポーツ

競技スポーツの魅力とは何か？

クラブや競技連盟は若者を競技スポーツに惹きつけることができているか？またどのようにしてそれが為されているか？

若者の競技スポーツへの参加を支援する効果的な運営枠組は存在しているか？

どのスポーツが現在、最も若者にとって魅力的であるか？その理由は？

オリンピック・ムーブメントは全ての人に対し、どのように競技スポーツを最も効果的に推進しているか？

4. 3：ユース・スポーツ・イベント（Youth Sport events）

設問背景：

現在、スポーツ・イベントはある特定の型の観衆の期待に沿って構成されている。オリンピック・ムーブメントは身体活動やスポーツ競技を推進し、それがもたらす個人的・社会的恩恵を高めるため、若者の興味に最も適うようスポーツ・イベントを組織すべきである。

問題の焦点：

スポーツ・イベントにおける若者の関心

若者をスポーツ・イベントの観戦やそれへの参加へと動機付けるものは何か？

競技を通し、若者の身体的、精神的、社会的発達を尊重するためにどのような方法がとられなければならないか？

いか？
ユース五輪やユース世界選手権は今後、どのように発展し、成熟していくだろうか？
オリンピック・ムーブメントは、スポーツに関連していようとなかろうと、若者のためにイベントを創設し組織していくべきか？もしそうなら、どのようにして？また何故？

テーマ 5 : デジタル革命 (The Digital Revolution)

5. 1 : スポーツ権の新たな管理 (The new management of sports rights)

設問背景：
テクノロジーの進化一般及び特にデジタル革命は、スポーツ・イメージの伝達方法に影響を与え続けている。テクノロジーの進歩と公衆がスポーツ・イベントに反応する仕方を考慮しつつ、オリンピック・ムーブメントは、現行のメディア権の管理モデルが依然として安定しているかどうか熟慮しなければならない。

問題の焦点：
デジタル革命
デジタル革命は権利保持者がオリンピック競技会を報道する方法を既にどのくらいまで変化させたか？
特に現行のモデルに関して、デジタル革命の恩恵と危険性は何か？
IOC はスポーツ権の管理をどのように再考すべきか？

5. 2 : スポーツの観衆の規模をどのようにして増大させられるか？ (How to increase the size of the sports audience?)

設問背景：
現在のデジタル革命は、様々な観衆への非常に多様なコンテンツの配信はもとより、イメージが伝達される方法を発達させる大きな可能性を提供している。新たなメディアの発達を考慮しつつ、オリンピック・ムーブメントは、増大しつつある観衆に到達し、より大きな結果を期待するためにも、どのようなコンテンツがイメージ製作者や報道関係者に提供されうるべきか決めなければならない。

問題の焦点：
サービスの多様化
テレビ視聴者やインターネットユーザーの大部分がオリンピック競技大会にアクセスできることを保証する新たな方策を、オリンピック・ムーブメントはどのように発達させるべきか？
観衆を増やすために、IOC は新たなオリンピック競技会に関連したコンテンツを企図すべきか？もしそうなら、どのようなコンテンツを？
デジタルメディア
新しいメディアは、どのくらいまで観衆の規模を増大させることができるか？
テレビ視聴者やインターネットユーザーがオリンピック競技会中の様々なイベントへより多くアクセスできるように、デジタルメディアは放映時間増大をどのように補助することができるか？

5. 3 : デジタル世代における利益関係者とのコミュニケーション (Communication with stakeholders in the digital age)

設問背景：
デジタルメディアはオリンピック・ムーブメントに関係する様々な団体とコミュニケーションをとる機会を増やし、また多様化させた。IOC、IF、NOC、アスリート、組織委員会、商業／非商業パートナー、メディアは、現在利用可能なコミュニケーション・メソッドから得られる利点を評価しなければならない。

問題の焦点：

デジタルメディア

様々な利益関係者により良いサービスを提供するため、オリンピック・ムーブメントはどのようにデジタル革命を利用すべきか？

バーチャル・コミュニティとの関連で、オリンピック・ムーブメントの位置づけはどのようなべきか？

コンテンツ・プロダクションの集中

動画との関係で、出版物の位置づけはどのようになっていくであろうか？（もともと、このメディアのコンテンツ配布（配信）は現在ますます新しいテクノロジーやデジタルメディアに依拠しつつあるという事実を考慮しなければならない。）

コンテンツ・プロダクションの集中は、通信社や出版、動画、インターネットといった様々なメディアのある特定の性格を消し去っているだろうか？IOCはこういった状況にどのように対応すべきか？